東芝扇風機（家庭用）
取扱説明書

形名
F-DLP300

日本国内専用
Use only in Japan

保証書付
保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いておりますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

● このたびは東芝扇風機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
● この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
● お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意 …………… 2～5
お願い……………………………… 6
ご使用の前に……………………… 6
各部のなまえ……………………… 7
組み立てかた…………………… 8～9
使いかた…………………… 10～19
バッテリー交換のしかた… 20～21
上手な使いかた………………… 22
お手入れと収納…………… 22～24
仕様……………………………… 25
故障かな？と思ったとき……… 26
保証とアフターサービス……… 27
保証書…………………………… 28

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）

危険 「死亡、または重傷を負う可能性が高い内容」を示します。	**警告** 「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。
注意 「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。	

図記号の説明

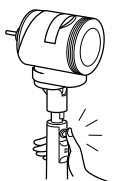
図記号の中の絵や近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。	図記号の中の絵や近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

警告

運転・取り扱いは

禁止

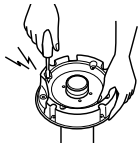
- **ベースを付けずに運転しない**
  （転倒して、けがの原因）
- **羽根・ガードを付けずに運転したり、高さ調節ボタンを押さない**
  （けがの原因）

- **スプレーなど（可燃性）を吹きつけたり、スプレー缶を近くに置かない**
  （可燃性スプレーや化学薬品を近くで使うと火災・爆発の原因）
- **デュアルセンサーに、ピンや針金など異物を入れない**
  （感電・けが・異常動作の原因）

水ぬれ禁止

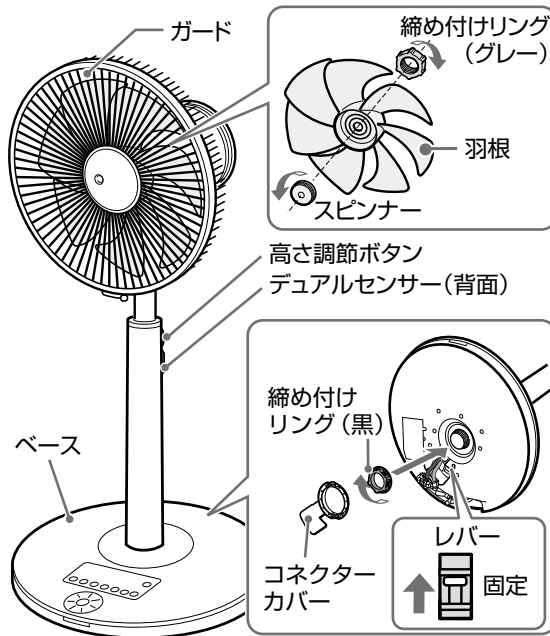
- **水につけたり、水をかけたりしない**
  （ショート・感電の原因）

分解禁止

分解・修理・改造をしない

（火災･感電･けがの原因）
修理はお買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

指示

包装用ポリ袋は、幼児の手の届かないところに保管する

（誤ってかぶると、窒息する原因）

指示

組み立てるときは、締め付けリング・スピンナーをしっかりと締め、レバーは［固定］側にスライドする

（部品がはずれ、けがの原因）

禁止

リモコン用のリチウム電池を乳幼児の手の届くところに置かない

（誤って飲み込むと、窒息･体調不良の原因）
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

⚠警告

電源プラグ・コードは

指示

- **電源は交流 100V のコンセントを使う**
  （火災・感電の原因）
- **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
  （感電や発熱による火災の原因）
- **電源プラグの刃や刃の取り付け面にホコリが付いた場合は、乾いた布で拭き取る**
  （絶縁不良による火災の原因）

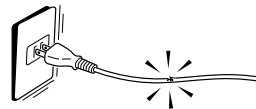
プラグを抜く

- **組み立てるとき・お手入れをするとき・持ち運ぶときは、主電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く**
  （感電・けがの原因）

ぬれ手禁止

- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
  （感電・けがの原因）

禁止

- **電源プラグ・コードが傷んだり、熱くなったときや、コンセントの差し込みがゆるい場合は使わない**
  （火災・感電・けが・ショートの原因）
  電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

- **電源プラグ・コードを傷付けない**
  （火災・感電・ショートの原因）
  ・加工しない
  ・熱器具に近づけない
  ・引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
  ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- **コードをベースで踏み付けない**
  （火災・感電の原因）

指示

異常・故障時にはすぐに使用を中止する

（火災・感電・けがの原因）

すぐに使用を中止して主電源ボタンを「切」にし、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターに点検・修理をご依頼ください。

《異常・故障例》
・スイッチを入れても羽根が回らない。
・羽根が回っても異常に回転が遅かったり、不規則になったりする。
・回転するときに異常な音がする。
・モーター部が異常に熱かったり、こげくさかったりする。

⚠注意

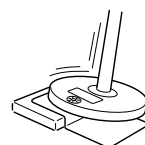
使用場所について

禁止

- **次のようなところでは使わない**
  （感電や火災の原因）
  ・ガスレンジなどの炎が当たるところ
  ・引火性ガスのあるところ
  ・雨や水しぶきのかかるところ
  ・高温（40℃以上）、多湿（浴室など）のところ
  ・油、ホコリ、金属粉の多いところ

禁止

- **不安定な場所や障害物の近くでは使わない**
  （転倒し、羽根の損傷・けがの原因）

（つづく）

⚠注意

運転・取り扱いは

指示

●本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する

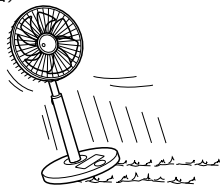
（羽根やガードがはずれて落下し、けがの原因）

禁止

●スライドパイプに油などを付けない

（パイプが急に下降して、けがの原因）

●製品を引きずらない

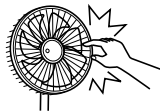
（床に傷が付く原因）

接触禁止

●入タイマー設定中は、羽根・ガードにさわらない

（羽根が回り始め、けがの原因）

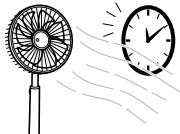
入タイマー設定時間の 10 秒前にブザーと、6 秒前に入タイマー時間「1」の点滅で、運転の開始をお知らせします。

●ガードの中や可動部へ指や異物を入れない

（けが・故障の原因）

禁止

長時間、風をからだに当てない

（健康を害する原因）

特にお休み中の乳幼児・お年寄り・ご病気のかたが使用するときは、周囲のかたが十分気をつけてください。

電源プラグ・コードは

プラグを抜く

●使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く

（絶縁劣化による火災・感電の原因）

指示

●電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

（コードを引っ張ると破損し、火災・感電の原因）

●コードを巻き取るときは、電源プラグを持って行う

（電源プラグが当たってけがの原因）

リモコン用のリチウム電池は

禁止

●指定以外の電池は使わない

●極性表示 ⊕ と ⊖ を間違えて入れない

●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない

●「使用推奨期限」を過ぎたり使い切ったリチウム電池は、リモコンに入れておかない

（液もれ・破裂などで、やけど・けがの原因）

もし液に触れたときは、水でよく洗い流し、医師に相談してください。

器具に付着したときは、液に直接触れないように拭き取ってください。

禁止

組み立てた状態では輸送しない

（破損する原因）

輸送するときは、箱に収納してください。

■バッテリー（ニッケル水素電池）について

⚠危険

分解禁止

バッテリーを分解・改造をしない

（液もれ・発熱・破裂・発火の原因）
バッテリーには危険防止のための安全機構が組み込まれています。これらを損なうと、過電流で充電または放電したり、充電制御ができなかったりすることがあります。

指示

内部からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受ける

（目に障害が起きる原因）

禁止

バッテリーを単独で充電しない

（液もれ・発熱・破裂の原因）

禁止

バッテリーを火の中に投入したり、加熱したりしない

（液もれ・発熱・発火の原因）

禁止

バッテリーは本製品以外の機器に使用しない

（液もれ・発熱・破裂の原因）

禁止

バッテリーを落下させたり、衝撃を与えたりしない

（液もれ・破裂・発火の原因）

禁止

バッテリーの接続コードをかみ込ませたり、切断したりしない

（ショート・液もれ・発熱・破裂・発火の原因）

禁止

バッテリーの端子同士を針金などの金属で接続しない

（液もれ・発熱・破裂・発火の原因）
金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

⚠警告

禁止

バッテリーが液もれしたり、変色、変形など今までと異なることに気付いたときは使用しない

（発熱・破裂・発火の原因）
もれた液が床に付着すると損害を与えることがあります。

禁止

バッテリーの外装チューブをはがしたり、傷付けたりしない

（ショート・発熱・破裂・発火の原因）

指示

内部からもれた液が皮膚や衣類に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流す

（皮膚がかぶれる原因）

水ぬれ禁止

水や海水などにつけたり、ぬらしたりしない

（ショート・発熱の原因）

⚠注意

指示

バッテリーを交換するときは、冷えてから交換する

（やけどの原因）

使用上の お願い

運転・取り扱いについて

■ 室内の壁コンセント※からの電源以外は使用しないでください

直流電力を交流電力に変換する装置に接続して使用しないでください。発煙・発火の原因になります。

（例：車載用電力変換装置）

※家庭用電源の代表例であり、壁・床・天井などのコンセントの位置による区別ではありません。

■ リモコンに液状のものをかけたり、落としたり、踏んだりしないでください

故障の原因になります。

■ ガードは無理に正面へ戻さないでください

破損の原因になります。
風向調節（→ 19 ページ）の範囲で正面に戻らないときは、首振り運転させて戻してください。

■ 保護ネットをガードに取り付けないでください

ガードの中に吸い込まれることがあり、羽根の損傷やけがの原因になります。

お手入れをするときは

■ 中性洗剤溶液は、洗剤容器の表示に従って水で薄めて使用してください

■ ベンジン・シンナー・アルコール・クレンザー・アルカリ性洗剤を使わないでください

乾いた布で強くこすったり、ベンジン・シンナー・アルコール・クレンザー・アルカリ性洗剤を使ったりしないでください。
表面の傷付きや、変質・変色・塗装はがれの原因になります。化学ぞうきんを使うときは、注意書に従ってください。

■ 運転停止後は、モーター軸が熱くなっていますので、お手入れは 30 分程度待ってから行ってください

■ 羽根・ガードなどに強い衝撃を与えないでください

破損の原因になります。

使用場所について

■ カーテンの近くや洗濯物の下で使わないでください

ガードの中に吸い込まれることがあり、羽根の損傷やけがの原因になります。運転中に羽根の回転が止まると、エラー検知し運転を停止します。（→ 25 ページ）

■ テレビ・ラジオ・補聴器などの近くで使わないでください

電波が弱いときや室内アンテナを使っているときに、雑音が入ることがあります。影響のないところまで離してください。

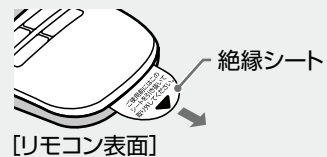
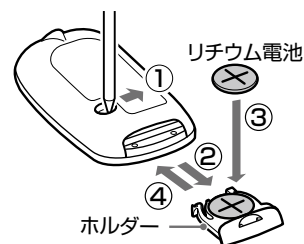
ご使用の前に

⚠ 注意

● **指定以外の電池は使わない**
● **極性表示⊕と⊖を間違えて入れない**

（液もれ・破裂などで、やけど・けがの原因）
もし液に触れたときは、水でよく洗い流し、医師に相談してください。
器具に付着したときは、液に直接触れないように拭き取ってください。

リモコンの絶縁シートを矢印の方向に引き抜いてください。

● リチウム電池は工場出荷時から、リモコンに入っています。自己放電のため、寿命が 1 年以下になっている場合があります。

電池交換のしかた

①リモコン裏側の穴にボールペンの先などを差し込み、矢印の方向へスライドさせる
②①の状態のまま、ホルダーを矢印の方向へ引き出し、古いリチウム電池を取りはずす
③新しいリチウム電池（CR2025）の⊕を上側にして、ホルダーにのせる
④ホルダーを「カチン」と音がするまで押し込む

お願い

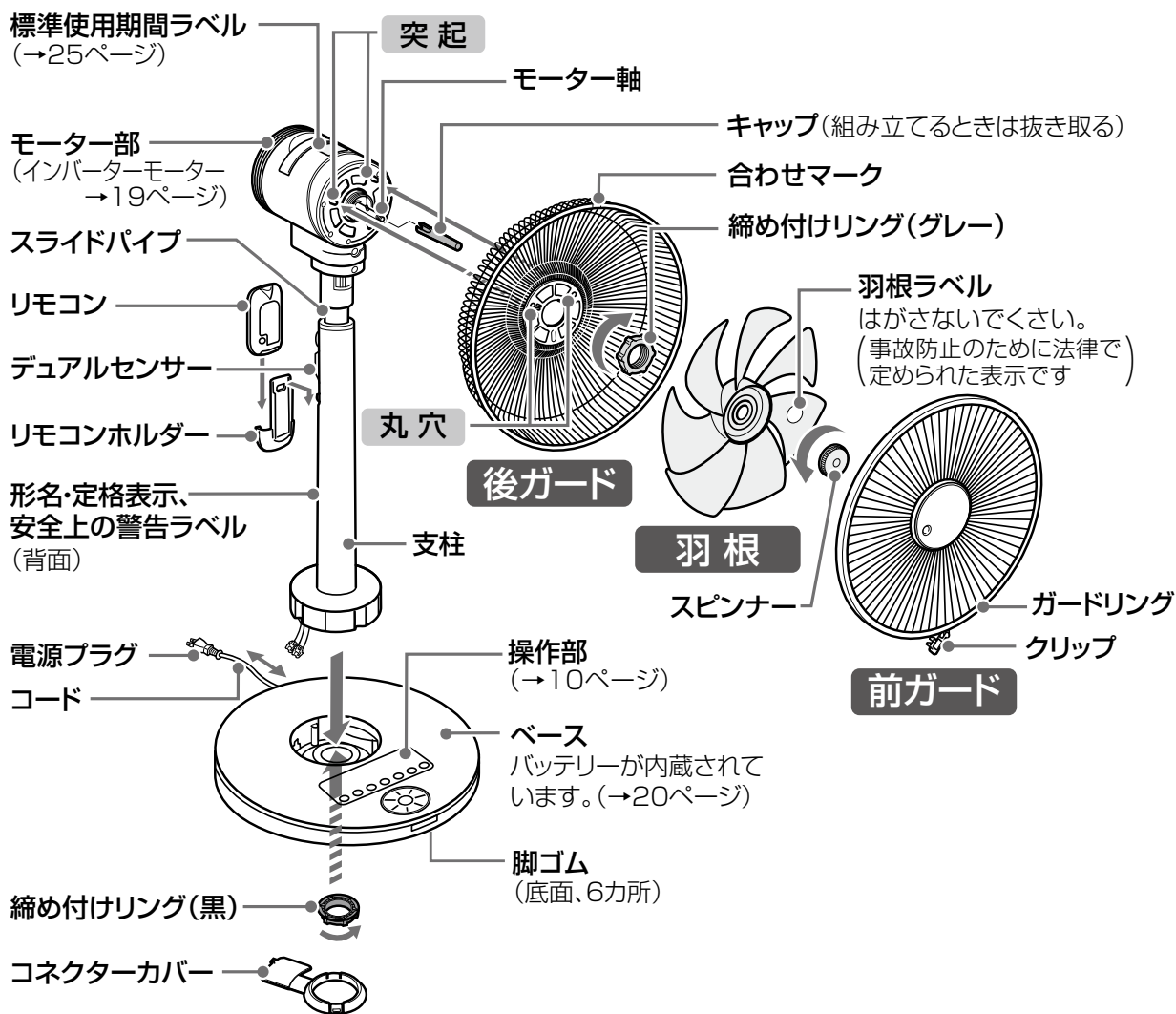
● 長期間使わないときは、リモコンからリチウム電池を取り出してください。（液もれの原因になります）
● 液がもれたときは、液をよく拭き取ってから新しいリチウム電池に交換してください。
● リチウム電池を廃棄する場合は、お住まいの地域のゴミ分別方法に従ってください。（廃棄する際に、上面と下面をセロハンテープなどで包んでください）

各部のなまえ

●製品が入っていた梱包箱・包装部品やモーター軸のキャップは、収納時に必要です。なくさないようご注意ください。

締め付けリング（2 個）／スピンナー／リモコン（電池内蔵）／リモコンホルダーはポリ袋に入っています。ポリ袋は収納時にお使いください。

組み立てかた

⚠警告

羽根・ガードを付けずに運転したり、高さ調節ボタンを押さない
（けがの原因）

コードをベースで踏み付けない
（火災・感電の原因）

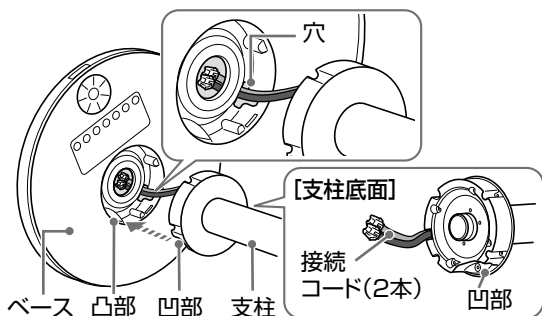
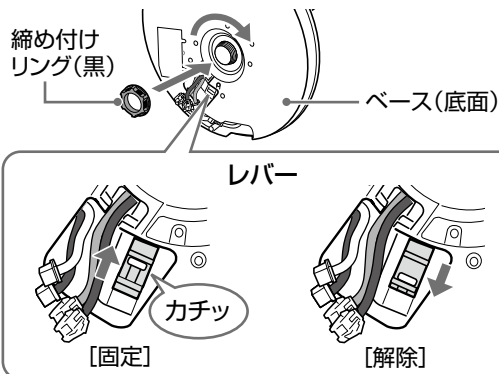
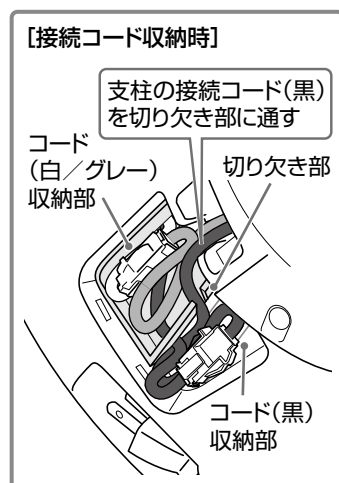
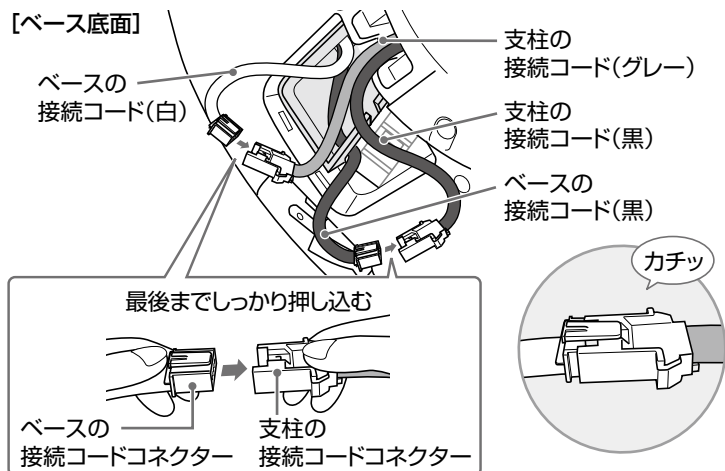
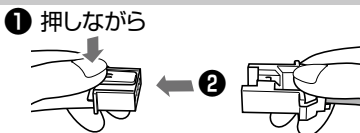
組み立てるとき・お手入れをするとき・持ち運ぶときは、主電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く
（感電・けがの原因）

●支柱は単体では立ちません。組み立て前は横向きに倒しておいてください。

●コネクターカバーは､ベースに取り付けられていますので､はずしてから組み立ててください。（手順 1-④参照）

1 支柱をベースに取り付ける

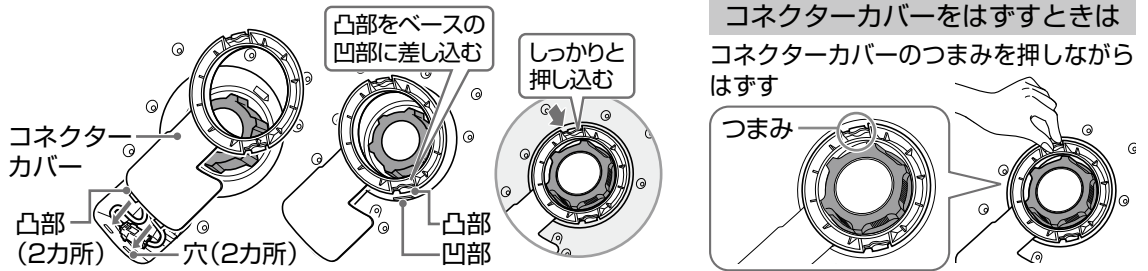
①支柱の接続コード（2 本）をベースの穴に通し、支柱の凹部をベースの凸部に合わせてはめ込む

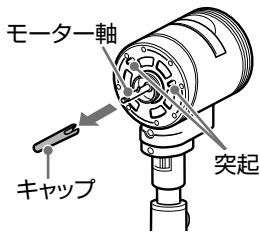
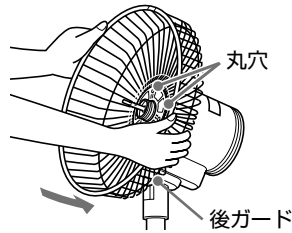
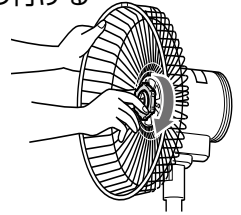
●接続コードをはさみ込んだり、ベースで踏み付けたりしないよう注意してください。

②ベース底面のレバーを [固定] 側に「カチッ」と音がするまでスライドした後、締め付けリング（黒）を右方向に回し、しっかりと締め付ける

③支柱の接続コード（2 本）とベースの接続コード（2 本）を接続して、コード収納部に入れる

接続コードをはずすときは

❶押して引っ掛かりをはずしながら
❷引っ張る

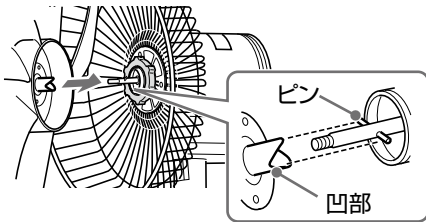
④コード収納部の穴（2カ所）にコネクターカバーの凸部（2カ所）をはめ込む

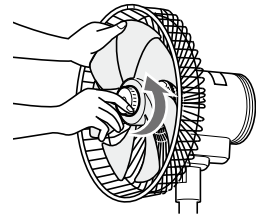
●コネクターカバーで接続コードをはさまないように注意してください。

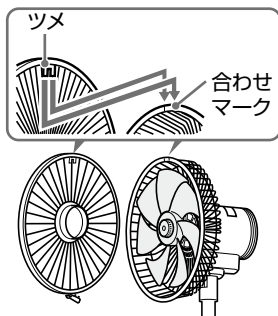
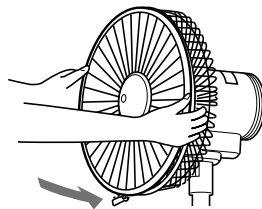
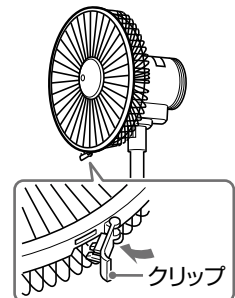
コネクターカバーをはずすときは

コネクターカバーのつまみを押しながらはずす

2 キャップを抜き取り、後ガードをモーター部に取り付ける

①キャップを抜き取る

②モーター部を少し上に向け、突起に後ガードの丸穴をはめ込む

③締め付けリング（グレー）を右方向に回し、しっかり締め付ける

3 羽根を取り付ける

①モーター軸のピンに羽根の凹部を合わせて差し込む

②スピンナーを左方向に回し、締め付ける

手で羽根を回し、スピンナーが落ちないことを確認してください。

4 前ガードを取り付ける

①前ガードのツメを、後ガードの「合わせマーク」に合わせてはめ込む

②前ガードを後ガードにかぶせるように、上から順にはめ込む

③クリップを強く押し込んで固定する

前ガードがはずれないことを確認してください。

使いかた

操作部

（イラストは、すべて表示された状態です）

切タイマー時間(→15 ページ)

室温表示(目安)
●お部屋の温度の目安を表示します。
Hi　室温 41℃以上のとき
Lo　室温 19℃以下のとき

上下首振り表示(→13 ページ)

湿度サイン（目安）
●お部屋の湿度の目安を表示します。
高湿　湿度 約70%以上のとき
適湿　湿度 約40～70%未満のとき
低湿　湿度 約40%未満のとき

羽根マーク
(→11、12 ページ)

自動表示
(→14 ページ)

センサー運転モード表示
(→14 ページ)

左右首振り表示
(→13 ページ)

センサー運転ボタン
(→14 ページ)

左右首振りボタン(→13 ページ)

上下首振りボタン(→13 ページ)

運転 切 / 入ボタン(→11 ページ)

風量ダイヤル(回す)

入タイマー時間(→16 ページ)

風量表示(→12 ページ)
風量を 7 段階で表示します。
[1][2][3][4][5][6][7]

バッテリー運転表示
バッテリー運転中、表示します。

バッテリーレベル表示(→11 ページ)
充電中は充電の進行状況を表示します。
バッテリー運転中はバッテリーの残量を表示します。

100V 運転表示
交流 100V 運転中、表示します。

主電源ランプ(→11 ページ)

主電源ボタン
電源を「切」「入」します。

チャイルドロック表示
(→16 ページ)

ピークシフトランプ
(→17 ページ)

ピークシフトボタン
(→17 ページ)

入タイマーボタン(→16 ページ)

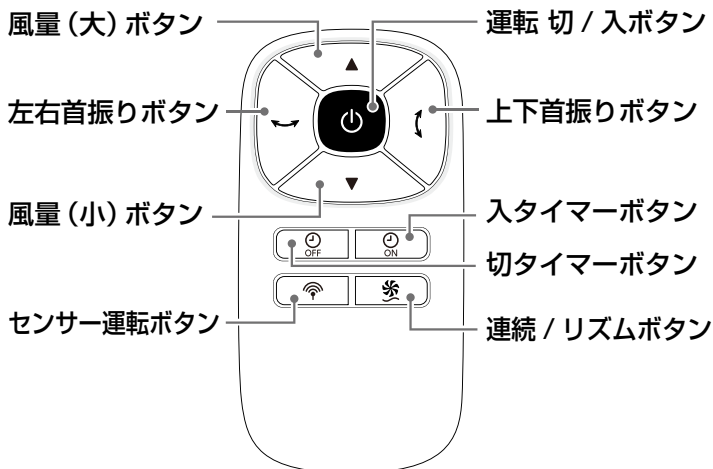
切タイマーボタン(→15 ページ)

連続 / リズムボタン(押す)

低湿 適湿 高湿
室温（目安） タイマー
OFF ON
自動
弱め 標準 強め
90° 70° 50°
チャイルドロック

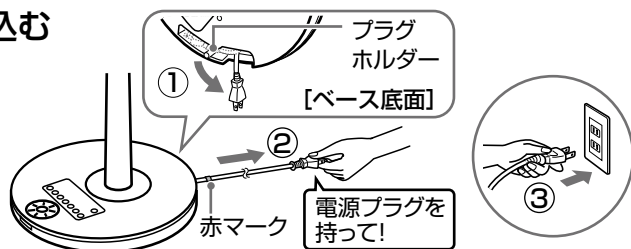
室温表示（目安）と湿度サイン（目安）について

- 室温表示と湿度サインは目安です。
  同じ室内でも場所によって温度・湿度が異なるため、お部屋の温度計・湿度計と差が出ることがあります。
- 運転中以外は表示されません。
- 運転開始から 30 分程度は、室温表示・湿度サインがお部屋の温度・湿度と異なる場合がありますが、徐々にお部屋の温度・湿度に近づきます。

リモコン

1 電源プラグをコンセントに差し込む

①電源プラグをプラグホルダーからはずす
②電源プラグを持ってコードを引き出す
③電源プラグをコンセントに差し込む

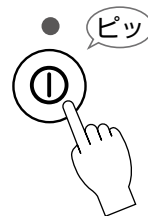
お願い

●コードは赤マークより長く引き出さないでください。断線の原因になります。

2 主電源ボタンを押す 主電源を「入」にしないと運転できません

主電源ランプがオレンジ色に点灯し、充電が始まります。

※バッテリーが満充電に近い状態のときは、主電源ランプが赤色に点灯し、充電されません。

●充電されると、電源プラグをコンセントからはずして使用できます。コンセントがない場所や停電のときに便利です。

●出荷時には十分に充電されていませんので、電源プラグをコンセントからはずして使用する場合は、必ず充電してください。

	充電状態	主電源ランプ色	バッテリーレベル表示	運転表示
停止中	充電中	オレンジ	表示されない	
	満充電(充電されない)	赤		
交流100V運転中	充電中	黄緑	レベル低 レベル中 レベル高	
	満充電(充電されない)	黄緑		
バッテリー運転中	充電されない	黄緑	レベル低 レベル中 レベル高	

●バッテリーの充電時間※の目安 ……………最長約 6 時間
●バッテリー運転の連続使用時間※の目安 …約 2 時間（風量［7］、上下・左右首振り運転の場合）
約 8 時間（風量［1］、上下・左右首振り運転の場合）
約 17 時間（風量［1］、首振りなしの場合）

※バッテリーの状態や使用条件、周囲の温度などによって変わります。

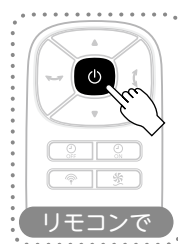
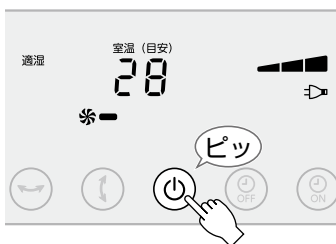
お願い

●充電は周囲の温度が 5℃～ 35℃の場所で行ってください。温度が低い場合や、直射日光が当たるなど高温のところでは正しく充電されません。運転時間が短くなったり、充電時間が長くなったりします。

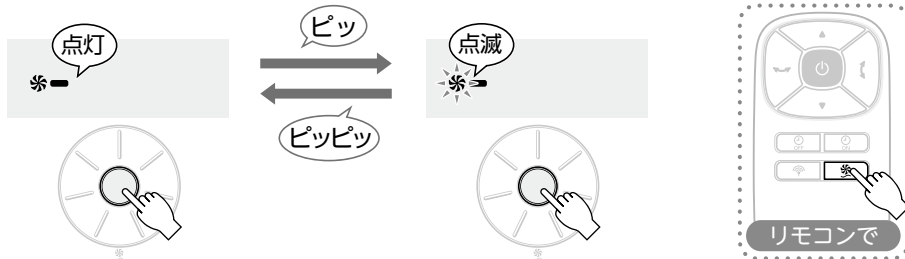
お知らせ

●充電中や使用中はバッテリー収納部（→ 21 ページ）が温かくなりますが、異常ではありません。
●バッテリー運転中は、消灯モードになります。（→ 17 ページ）
●バッテリー運転時、バッテリーレベルが低くなると首振り動作が不安定になることがありますが、異常ではありません。
●交流 100V 運転中に、電源プラグをコンセントからはずしたり、停電したときは運転が止まります。（自動的にバッテリー運転には切り換わりません）
運転を続けたいときは、運転切 / 入ボタンを押してください。
●電源プラグをコンセントからはずして、バッテリー運転しているときに電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に交流 100V 運転になります。
●電源プラグをコンセントからはずして、バッテリー運転しているときにバッテリーの残量がなくなると運転を停止します。電源プラグをコンセントに差し込み充電してください。

運転 切 / 入ボタン

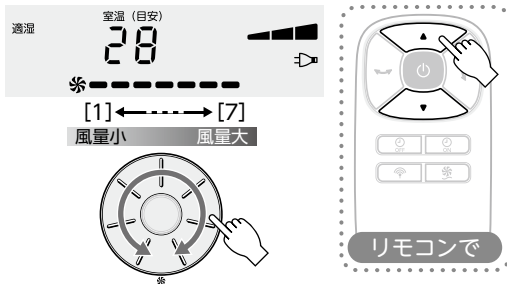
●押すたびに運転が「入」または「切」に切り換わります。
●「入」のときは「ピッ」、「切」のときは「ピー」と鳴ります。
• 主電源を「入」にして、最初に押したときは連続風の風量［1］になります。
●お好みの風量で運転したいときは、風量ダイヤルを回すか、リモコンの風量ボタンを押してください。
• 室温表示（目安）と湿度サイン（目安）を表示します。
• 羽根マーク・風量表示・100V 運転表示・バッテリーレベル表示が点灯します。
• バッテリー運転のときは、バッテリー運転表示が点灯します。

使いかた（つづき）

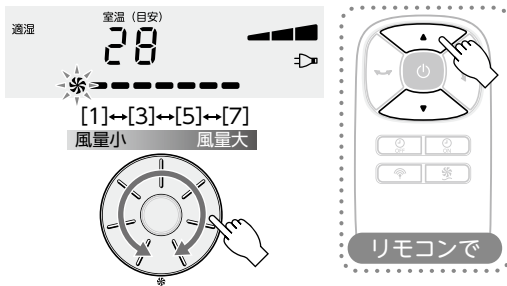
連続 / リズムボタン・風量ダイヤル

●連続 / リズムボタンを押すたびに連続風とリズム風が切り換わります。

連続風
- 同じ風量で連続して風を送ります。
- 羽根マーク・風量表示が点灯します。

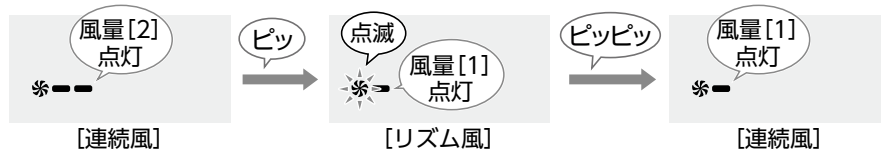
リズム風
- 風量に変化をつけたリズミカルな風を送ります。
- リズム風では羽根マークが**点滅**し、風量表示が点灯します。

■連続風のときは

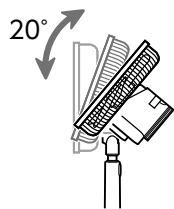
●風量ダイヤルを回すと風量を［1］～［7］の7段階に切り換えることができます。
- 右に回すほど風量が大きくなります。
- リモコンの風量ボタンでも切り換えることができます。
- 室温表示（目安）と湿度サイン（目安）を表示します。
- 羽根マーク・風量表示・100V運転表示・バッテリーレベル表示が点灯します。
- バッテリー運転のときは、バッテリー運転表示が点灯します。

■リズム風のときは

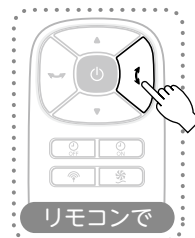
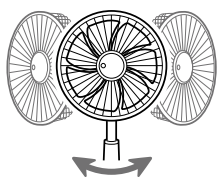
●風量ダイヤルを回すと風量を［1］、［3］、［5］、［7］の4段階に切り換えることができます。
- 右に回すほど風量が大きくなります。
- リモコンの風量ボタンでも切り換えることができます。
- 室温表示（目安）と湿度サイン（目安）を表示します。
- 羽根マークが**点滅**し、風量表示が点灯します。
- 100V運転表示･バッテリーレベル表示が点灯します。
- バッテリー運転のときは、バッテリー運転表示が点灯します。

■連続風からリズム風に切り換えたときは

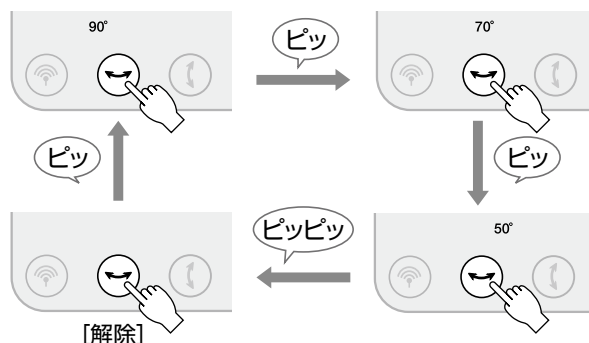
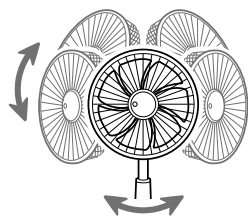
●連続風の［2］、［4］、［6］からリズム風に切り換えた場合は、1段階少ない風量になります。
リズム風から連続風に切り換えたときは、風量は変わりません。

（例）連続風［2］のとき

お知らせ

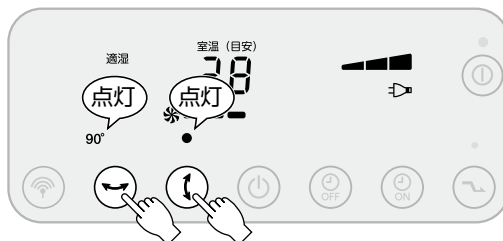
●風量ダイヤルは、右は風量最大の［7］、左は風量最小の［1］まで回しても止まらずに回ります。

上下首振りボタン

上下方向に
首振りします。

●押すたびに上下首振り運転が「入」または「切」に切り換わります。
●上下首振り表示が点灯します。

左右首振りボタン

左右方向に首振りします。

●押すたびに 90° → 70° → 50° →消灯（解除）→ 90° …の順で左右首振り表示が点灯し、左右首振り運転の角度が切り換わります。

■上下・左右首振り運転をしたいときは

●上下首振り運転中に左右首振りボタンを押したり、左右首振り運転中に上下首振りボタンを押すと上下・左右を組み合わせた首振り運転になります。

●上下首振り表示と左右首振り表示が点灯します。

上下・左右を組み合わせた
首振りをします。

お知らせ

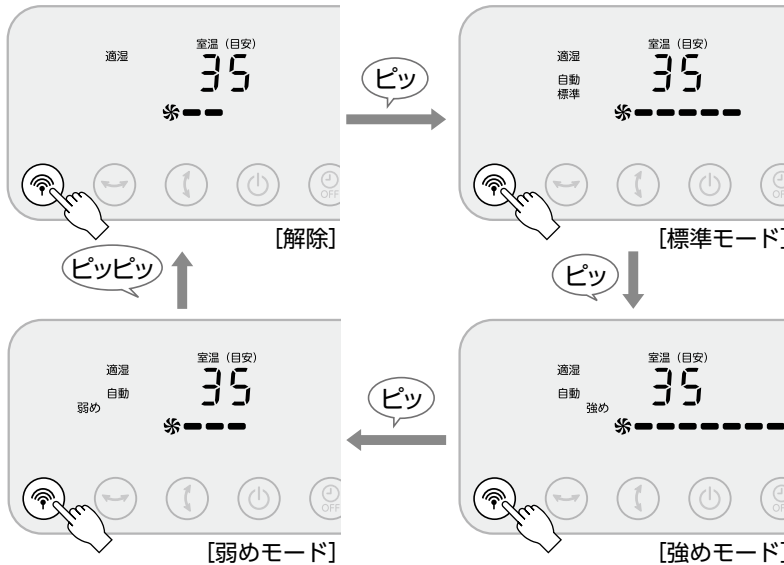
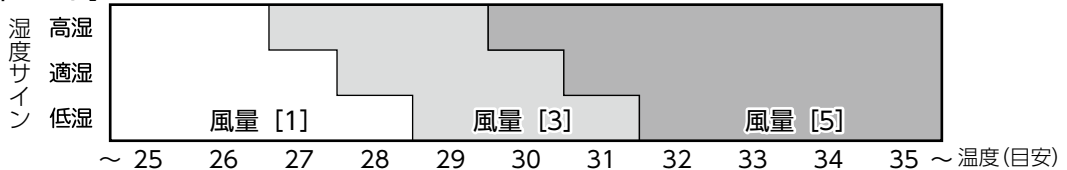
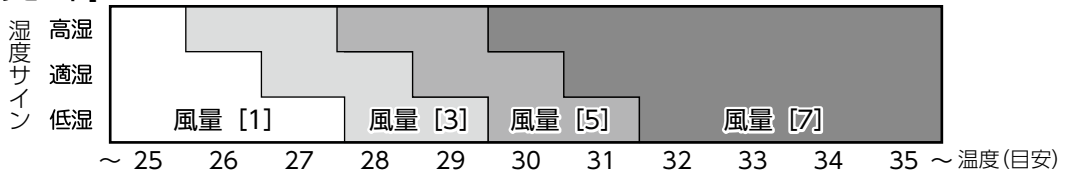
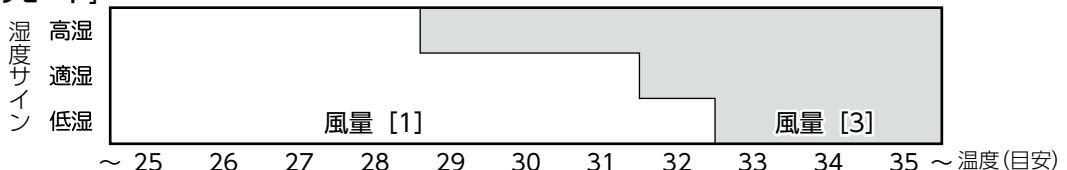
●上下、左右とも首振り角度が両端の位置になったとき、首振りが一時的に止まる場合がありますが異常ではありません。（→ 26 ページ）
●首振り運転の最初や、手で風向きを調節したときに「カチ、カチ」と音がすることがあります。（→ 26 ページ）

使いかた（つづき）

センサー運転ボタン

デュアルセンサーが温度･湿度を感知し、それに応じて設定されている風量で自動的に運転します。

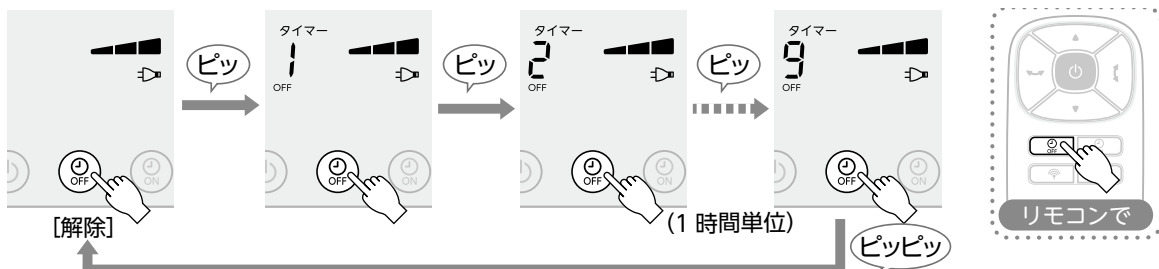
- 押すたびにセンサー運転モードと表示が、標準モード→強めモード→弱めモード→解除…と切り換わります。
- センサーボタンを押して、センサー運転モード表示を消灯するか、連続 / リズムボタンを押すと、センサー運転は解除されます。
- 自動表示と羽根マーク・風量表示が点灯します。

（例）室温 35℃、適湿のとき

- 温度・湿度によって、以下のように風量が切り換わり、連続風で運転します。

室温表示と湿度サインは目安です。
同じ室内でも場所によって温度･湿度が異なるため、お部屋の温度計･湿度計と差が出ることがあります。

- センサー運転中は、風量の設定やリズム風はできません。

切タイマーボタン

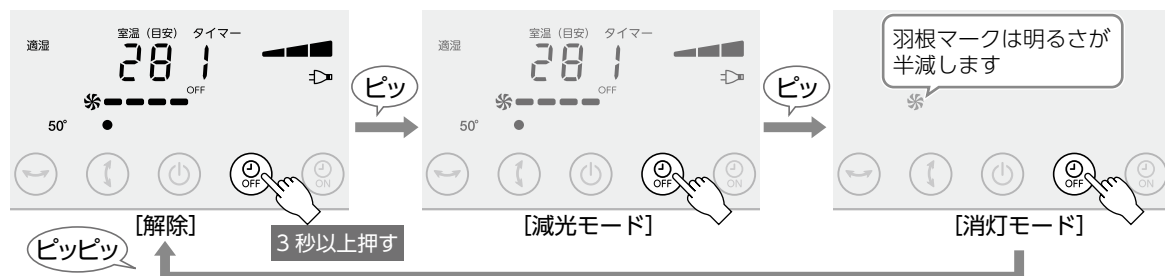
運転中に押すと、運転を停止するまでの時間（1 時間単位で 9 時間まで）を設定できます。

●押すたびに、切タイマー時間が下図の順序で切り換わります。
　切タイマーボタンを押して切タイマー表示を消灯するか、運転を停止すると、切タイマーは解除されます。
●時間の経過とともに切タイマー時間が切り換わり、残り運転時間の目安を表示します。

●設定された時間の半分を過ぎると、連続風のときは風量［3］の連続風に、リズム風のときは風量［3］のリズム風に自動で切り換わります。（風量［1］、［2］のときは切り換わりません）

減光モードと消灯モード

おやすみのときなどに
（リモコンの切タイマーボタンでは設定・解除できません）

運転中、本体操作部の切タイマーボタンを 3 秒以上押すと、表示が切り換わります。
そのまま押し続けると、1 秒ごとに切り換わります。

●減光モード……表示の明るさが半減します。　●消灯モード……羽根マーク以外が消灯します。

●消灯モード中に運転 切 / 入ボタン以外のボタンを押すと、表示部が点灯します。
　このときは、点灯するだけで運転の切り換えは受け付けません。運転を切り換えたいときは、続けてボタン操作してください。約 10 秒間ボタン操作を行わないと、表示部が消灯します。
●消灯モード中にチャイルドロックを設定すると、チャイルドロック表示が点灯します。
　（表示の明るさは半減します）
●減光モード、または消灯モードを解除するときは、本体操作部の切タイマーボタンを 3 秒以上押してください。
●主電源ボタンまたは、運転 切 / 入ボタンを押して、運転を停止したときは、減光モードや消灯モードは解除されます。
●切タイマーで運転が停止したときも解除されます。

切・入タイマーの連続設定

運転中、切タイマーの設定後に、入タイマーを設定することで、運転停止と運転開始を連続して設定できます。

●入タイマーの設定後に、切タイマーを設定することはできません。
●切タイマーを解除すると、入タイマーも解除されます。
●入タイマーを設定したタイミングにかかわらず、入タイマーのカウント開始は**切タイマーで運転を停止してから**になります。

《連続設定の例》
切タイマーを 2 時間に設定し、入タイマーを 2 時間に設定したとき

（つづく）

使いかた（つづき）

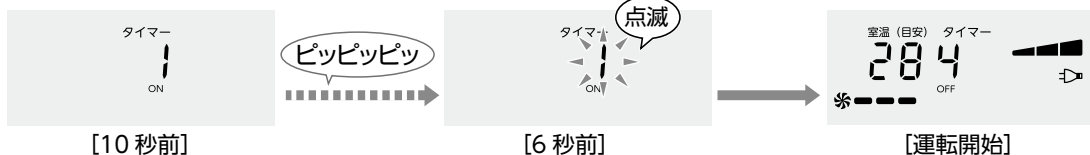
入タイマーボタン

主電源「入」で運転停止中、または運転中に切タイマーを設定した後に、運転を開始するまでの時間（1 時間単位で 9 時間まで）を設定できます。
（切タイマー設定時は運転が停止してから再び運転するまでの時間）

- 押すたびに入タイマー時間が下図の順序で切り換わります。
  入タイマーボタンを押して入タイマー時間を消灯するか、運転 切 / 入ボタンを押すと、入タイマーは解除されます。

[解除]
(1 時間単位)

- 時間の経過とともに入タイマー時間が切り換わり、運転開始までの時間の目安を表示します。
- 設定された時間の 10 秒前にブザー（「ピッピッピッ」）と 6 秒前に入タイマー時間「1」の点滅で、運転の開始をお知らせします。
- 設定された時間になると、風量［3］の連続風で運転を開始します。
- 前回の運転で停止する前に首振り運転していた場合は、首振り運転で運転を開始します。

［10 秒前］　［6 秒前］　［運転開始］

4 時間オートパワーオフ機能

入タイマーで運転開始後、4 時間経過すると、自動的に運転を停止します。

- 入タイマーで運転が開始すると切タイマー時間「4」が点灯し、残りの運転時間の目安を表示します。
- 解除するときは、切タイマーボタンを押して切タイマー時間を消灯してください。

■チャイルドロックを使いたいときは　お子様のいたずらや誤操作を防ぎます

（リモコンの入タイマーボタンでは設定・解除できません）

- 運転中に 3 秒以上押すと、運転停止と主電源「切」以外の操作ができなくなります。
  - ・チャイルドロック表示が点灯します。
  - ・設定後に主電源ボタンと運転 切 / 入ボタン以外のボタンを押したり、風量ダイヤルを回すと「ピッピッピッピッ」と鳴り、チャイルドロック表示が点滅します。
  - ・運転を停止すると、主電源「切」「入」以外の操作ができなくなります。
- 運転停止中に 3 秒以上押すと、主電源「切」以外の操作ができなくなります。
  - ・「ピッ」と鳴り、チャイルドロック表示が点灯します。
- 解除するときは、もう一度 3 秒以上押してください。
  - ・「ピッピッ」と鳴り、チャイルドロック表示が消灯します。

[チャイルドロック設定]

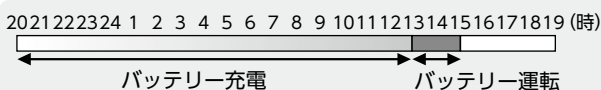
3 秒以上押す
[チャイルドロック解除]

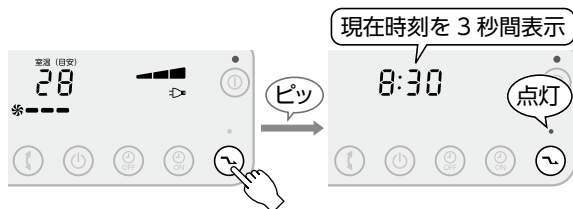
ピークシフトボタン

主電源「入」で運転停止中、または運転中に押すと、ピークシフト運転の「入」と「切」が切り換わります。

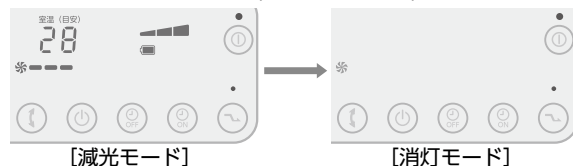
ピークシフト運転

20：00 ～ 13：00 の間にバッテリーを充電し、使用電力量が高くなる昼間（13：00 ～ 15：00）に自動でバッテリー運転に切り換わります。

●バッテリー運転中にバッテリー残量が少なくなると、自動で交流 100V 運転に切り換わります。
（充電は 20：00 から開始します）

1.ピークシフトボタンを押す

●「ピッ」と鳴り、ピークシフトランプが点灯します。
●現在時刻が表示され、3 秒後に元の表示に戻ります。

バッテリー運転中は

●バッテリー運転表示が点灯します。
●減光モードに切り換わり、約 10 秒間操作しないと消灯モードになります。（→ 15 ページ）

［減光モード］　　［消灯モード］

2.ピークシフト運転を解除したいときは、もう一度ピークシフトボタンを押す

●「ピッピッ」と鳴り、ピークシフトランプが消灯します。

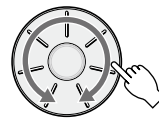
現在時刻の合わせかた

時計は 24 時間表示
（夜 12 時…0:00 / 昼 12 時…12:00）

1.主電源「入」で運転停止中にピークシフトボタンを 3 秒以上押す

●時計表示になり、「時」が点滅します。

2.風量ダイヤルで「時」を合わせる

●右に回すと進み、左に回すと戻ります。

3.連続／リズムボタンを押して、「時」を設定する

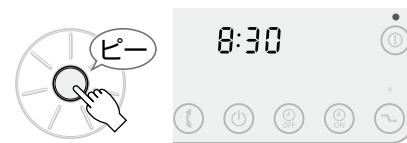
●「分」が点滅します。

4.風量ダイヤルで「分」を設定し、連続／リズムボタンを押すと完了

●設定した時刻を 3 秒間表示した後、消灯します。

メモリー機能

運転停止後、運転 切 / 入ボタンを押すと、停止する前の運転状態で運転します。

●切・入タイマー時間と減光・消灯モードはメモリーされません。
●切タイマーで自動的に風量が［3］になって運転を停止したときは、［3］になる前の風量をメモリーします。
●主電源「切」にすると、メモリーは解除されます。

お知らせ

●主電源「切」でも、電源プラグがコンセントに差し込まれていると約 1.4W の電力を消費します。操作部が温かくなりますが、異常ではありません。お使いにならないときは、電源プラグを抜いてください。
●使い始めなど、運転時にモーター部からにおいがすることがありますが、ご使用により徐々に少なくなります。

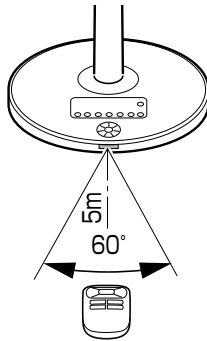
お願い

●切タイマーや入タイマーを設定しているときは、主電源を「切」にしないでください。切・入タイマーの設定は、主電源を「切」にすると解除されます。

（つづく）

使いかた（つづき）

リモコンの操作について

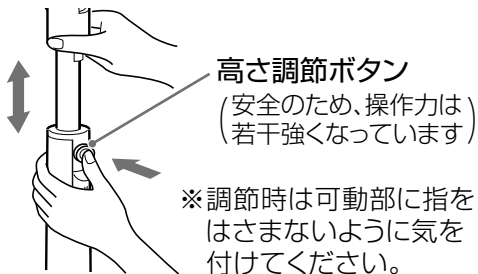
- リモコンは受光部に向けて操作します。
- 操作可能範囲は、受光部正面から約5m、左右に約 60° 以内です。
- 動作しにくくなったら、電池を交換してください。

お願い

- 本体の受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。動作しにくい場合があります。

高さを調節するとき……

高さ調節ボタンを押しながら、スライドパイプの上部を持って調節してください。

高さ調節ボタン
（安全のため、操作力は若干強くなっています）

※調節時は可動部に指をはさまないように気を付けてください。

時計用のリチウム電池について

本体内部に固定されている時計用のリチウム電池は、電源プラグを抜いているときに時計を動かすためなどに使われます。（電源プラグを差し込んでいると電源で時計が動くため、リチウム電池が長持ちします）

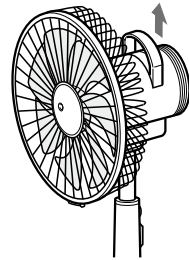
《リチウム電池が消耗したら》

電源プラグを抜いて、主電源「切」にしたとき、時刻の記憶がなくなります。

主電源を「入」にすると、「0:00」の点滅になります。運転 切/入ボタンを押すと点滅が止まり、通常通り使えます。
ピークシフト運転するときは、時計を合わせ直してからお使いください。（17 ページ）

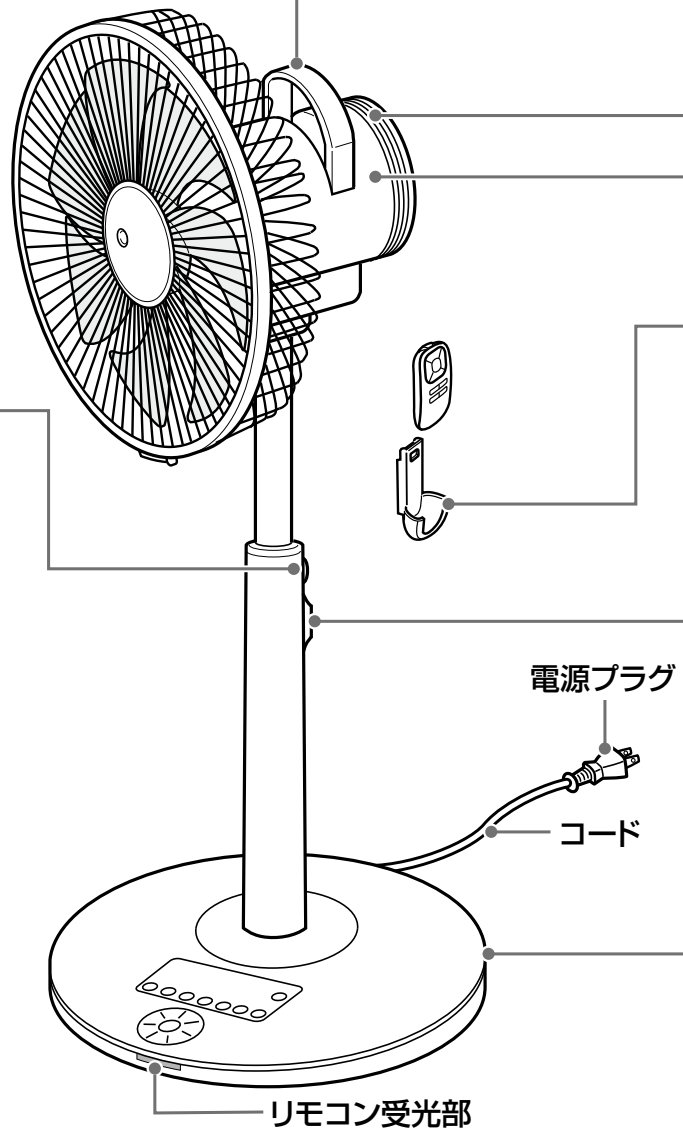
➡時計用の電池交換はお客様自身ではできませんので、お買い上げの販売店にご依頼ください。（有料）

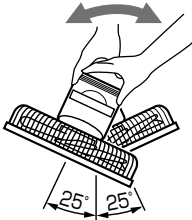
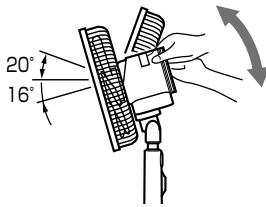
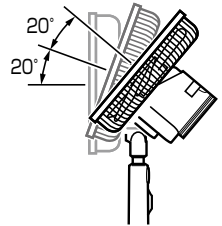
ハンドル

持ち運ぶときは引き上げてお使いください。

※ハンドルで指をはさまないように注意してください。

電源プラグ

コード

リモコン受光部

風向を調節するとき……

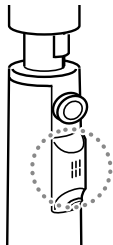
左右に調節

上下に調節

●手動で20°上向きにして上下首振り運転すると、さらに20°上向きになります。

※調節時は可動部に指をはさまないように注意してください。

お願い

●調節可動範囲（左右、上下調節範囲）を超えて無理に動かさないでください。
首振り用モーターの故障の原因になります。

インバーターモーターについて

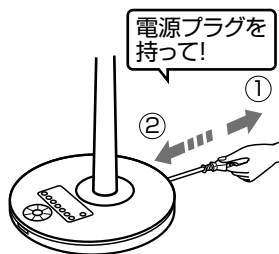
周波数を変化させてモーターの回転数を低速から高速まで幅広くコントロールするモーターのことです。

デュアルセンサー

お部屋の温度と湿度を感知します。

コードリール

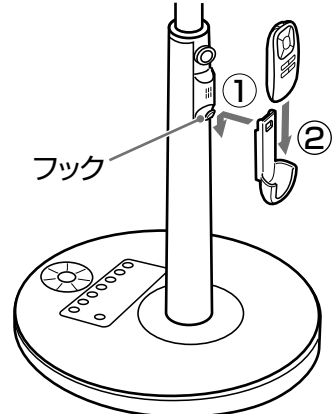
● **コードを巻き取るときは**

1.電源プラグを持つ
電源プラグがはね上がるのを防ぎます。

2. コードを少し引き出し(①)、ゆっくりと戻すようにして巻き込む(②)

リモコンホルダー

リモコンを使用しないときは、リモコンホルダーに収納してください。

● **リモコンホルダーの取り付け**

リモコンホルダーをフックにかける。

お願い

● リモコンホルダーを取り付けた状態で、後ろ側に引っ張ったり、ひねったりしないでください。破損の原因になります。

バッテリー交換のしかた

分解禁止

バッテリーを分解・改造をしない
（液もれ・発熱・破裂・発火の原因）
バッテリーには危険防止のための安全機構が組み込まれています。これらを損なうと、過電流で充電または放電したり、充電制御ができなかったりすることがあります。

⚠注意

指示

バッテリーを交換するときは、冷えてから交換する
（やけどの原因）

バッテリーについて

バッテリー（ニッケル水素電池）は、消耗部品です。
繰り返しご使用になると、運転できる時間が徐々に短くなります。
電池の寿命は、使用条件・周囲の温度などによって異なりますが、正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合は、バッテリー（ニッケル水素電池）の寿命と考えられます。
このようなときは、バッテリー（ニッケル水素電池）を交換してください。

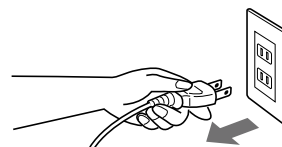
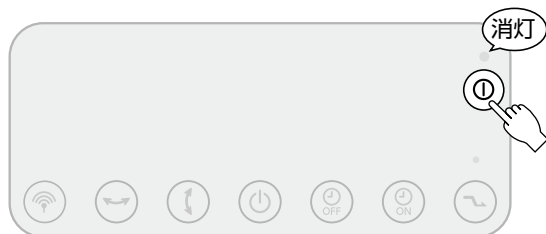
●交換の目安
約 5 年（約 500 回充放電ができます）

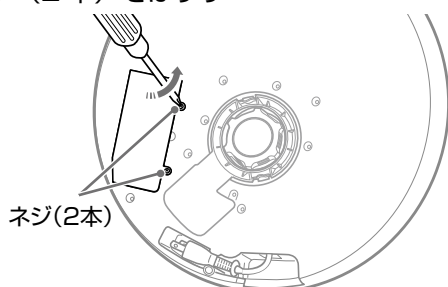
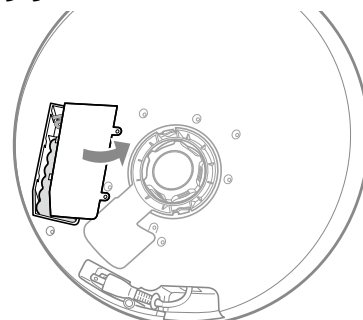
●交換用の電池は、お買い上げの販売店でお買い求めください。

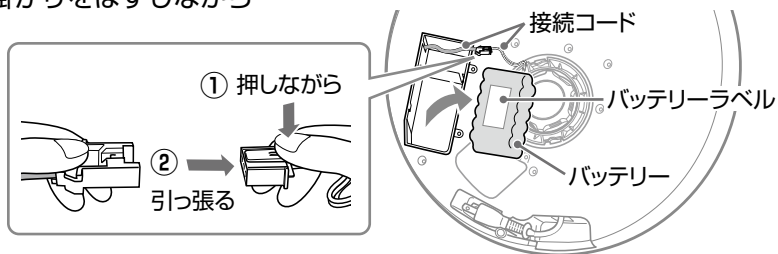
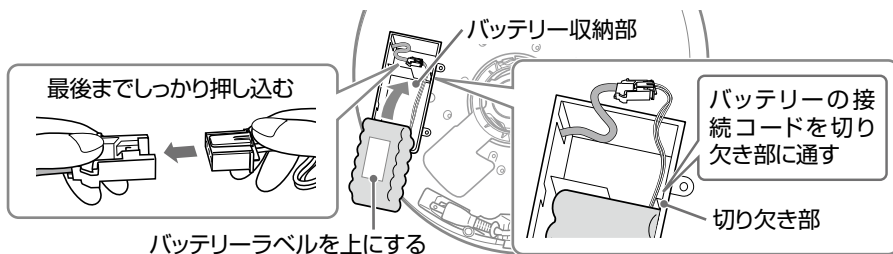
部品名	東芝扇風機用バッテリー
形　名	F-B001

●バッテリーは、完全に使い切ってからはずしてください。

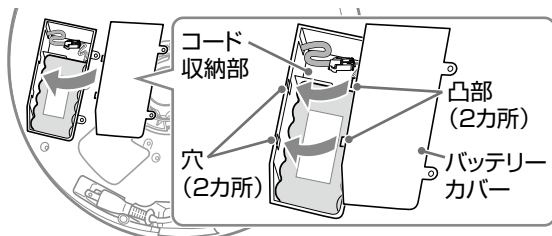
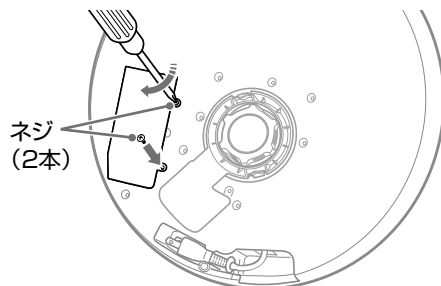
<バッテリーを使い切っているかを確認する>
電源プラグをコンセントからはずした状態で、主電源を「入」「切」したときに、主電源ランプが点灯しなければ使い切っています。

1 運転を停止し、主電源を「切」にして、電源プラグをコンセントから抜く

2 バッテリーカバーを取りはずす

①支柱をゆっくりと横に倒し、プラスドライバーでベース底面のバッテリーカバーのネジ（2 本）をはずす

②バッテリーカバーを矢印の方向に持ち上げてはずす

3 バッテリーと本体をつないでいる接続コードをはずし、バッテリーを取り出す

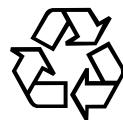
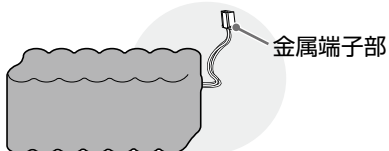
①押して引っ掛かりをはずしながら
②引っ張る

4 接続コードを接続し、新しいバッテリーをバッテリー収納部に入れる

5 バッテリーカバーを取り付ける

①接続コードをコード収納部に入れ、穴（2カ所）にバッテリーカバーの凸部（2カ所）をはめ込む

●バッテリーカバーで接続コードをはさまないように注意してください。

②プラスドライバーでネジ（2 本）をしっかりと締める

お願い

●取りはずしたバッテリーは、再度本体に接続しないでください。（バッテリーの液もれ・発熱・破裂・発火の原因）
●バッテリー交換後にバッテリー運転をするときは、電源プラグをコンセントに差し込んで主電源を「入」にしてから運転してください。

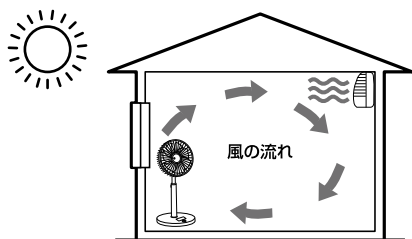
バッテリーのリサイクル

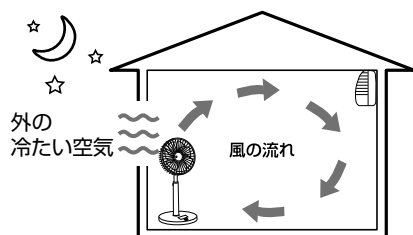
不要になったバッテリーは貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のために必ず金属端子部にテープ等を貼って絶縁してください。

Ni-MH

以下のホームページから全国各地のリサイクル協力店が簡単に検索できます。
一般社団法人 JBRC ホームページ　http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

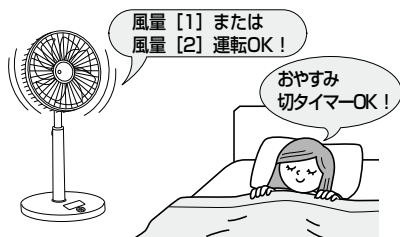
上手な使いかた

上向き気流でお部屋の空気を上手に循環

夏はエアコンと併用して省エネ快適冷房。冬の暖房時には天井付近の暖かい空気を循環させて暖房効率を高めます。

夜間は

窓際に置いて、外の冷たい空気を取り入れましょう。

おやすみのときは

寝冷えを防ぐため、風量［1］か風量［2］で首振り運転し、切タイマーを設定しましょう。切タイマー設定後、お目覚めの頃に合わせた入タイマーを設定しておくと便利です。

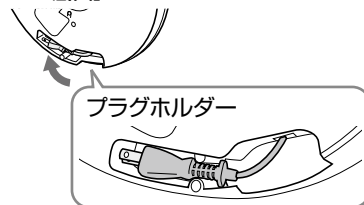
- おやすみ中は、風が長時間からだに当たらないように気を付けてください。

お手入れと収納

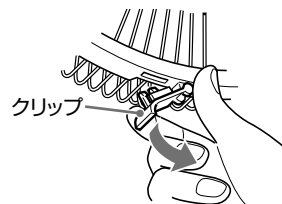
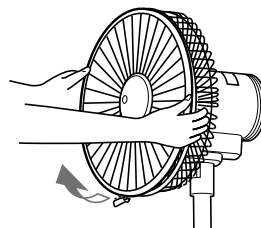
取りはずしかた

首振り運転（→ 13 ページ）をしてガードてと逆の手順ではずします。

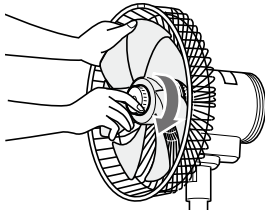
1 主電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く

- 主電源「入」になっていると電源プラグをコンセントから抜いても運転切 / 入ボタンを押すと動作しますので、必ず主電源を「切」にしてください。

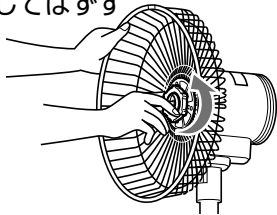
2 コードを巻き取り、電源プラグをプラグホルダーにはさみ込む

3 前ガードをはずす

①クリップをはずす

②ガードリングを両手で手前に引くようにして、前ガードをはずす
（クリップを引っ張ると破損の原因になります）
（→ 9 ページ　手順 4）

を正面に向けてから運転を停止し、組み立

4 羽根をはずす

①スピンナーを右方向に回してはずす

②手前に引くようにして羽根をはずす

5 後ガードをはずす

①締め付けリング（グレー）を左方向に回してはずす

②手前に引くようにして後ガードをはずす

6 取り付けと逆の手順で支柱をはずす

（→８、９ページ　手順１）

①コネクターカバーをはずす

②接続コードをはずす

③締め付けリング（黒）を左方向に回してはずす

④ベース底面のレバーを［解除］側にスライドする

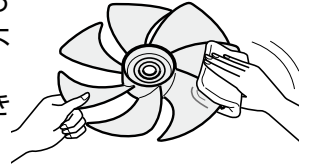
⑤ベースを押さえながら支柱をはずす

お願い

- コネクターカバーは、ベースに取り付けて収納してください。

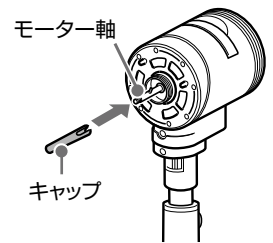
お手入れのしかた

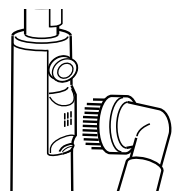
羽根・本体

①水に浸してかたく絞ったやわらかい布で、よごれを拭き取る
②乾いた布で水分を拭き取る

よごれがひどいときは

①中性洗剤溶液に浸してかたく絞ったやわらかい布で、よごれを拭き取る
②洗剤が残らないよう、水で絞った布で十分に拭き取る
③乾いた布で水分を拭き取る

モーター軸

よごれを拭き取り、ミシン油を塗ってキャップをかぶせる。

デュアルセンサー　１カ月に１度を目安に

掃除機でよごれを吸い取る。
よごれがひどくなると温度・湿度を正常に感知しなくなったり、故障の原因になったりします。

お願い

- 中性洗剤溶液は、洗剤容器の表示に従って水で薄めて使用してください。
- 乾いた布で強くこすったり、ベンジン・シンナー・アルコール・クレンザー・アルカリ性洗剤を使ったりしないでください。
  表面の傷付きや、変質・変色・塗装はがれの原因になります。化学ぞうきんを使うときは、注意書に従ってください。
- 運転停止後は、モーター軸が熱くなっていますので、お手入れは 30 分程度待ってから行ってください。
- 羽根・ガードなどに強い衝撃を与えないでください。破損の原因になります。

（つづく）

お手入れと収納（つづき）

プラグを抜く

組み立てるとき・お手入れをするとき・持ち運ぶときは、主電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く

（感電・けがの原因）

収納のしかた

以下の順番に収納して保管してください。

1

ベース
コネクターカバーを取り付けてから収納してください。

包装部品（左下）

包装部品（右下）

2

支柱

3

包装部品（右上）

包装部品（左上）

4

締め付けリング（2個）

リモコンホルダー

リモコン

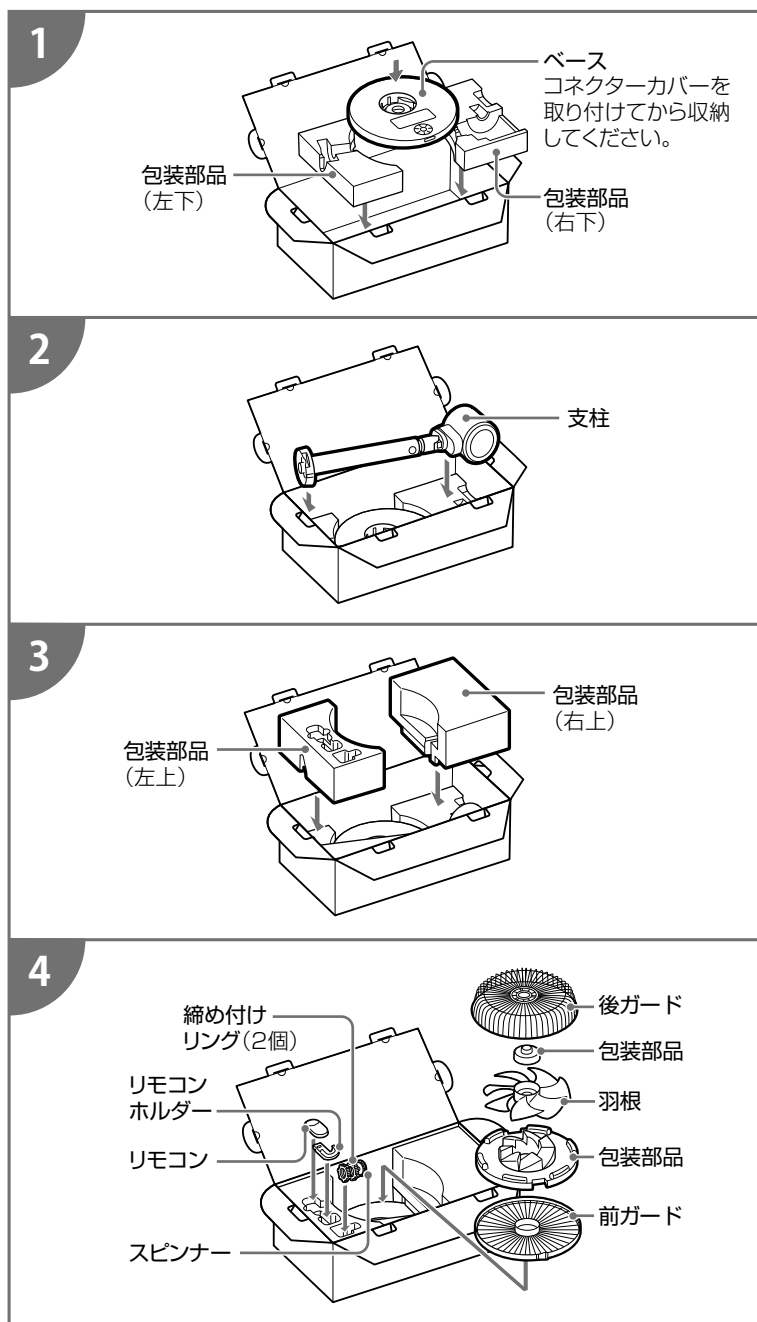
スピンナー

後ガード

包装部品

羽根

包装部品

前ガード

仕様

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

<table>
<tr><td colspan="2">形名</td><td colspan="3">F-DLP300</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td>交流 100V　50/60Hz</td><td>風速*2</td><td>175m/min</td></tr>
<tr><td rowspan="2">消費電力*1</td><td></td><td>31W</td><td>風量*2</td><td>41m³/min</td></tr>
<tr><td>充電にかかる消費電力</td><td>9W</td><td>コードの長さ</td><td>約 1.7m（コードリール式）</td></tr>
<tr><td colspan="2">本体電源方式</td><td>充電式
（バッテリー：
ニッケル水素電池
16.8V　2000mAh
セル数 14）</td><td>首振り角度</td><td>上下 20°
左右 50°、70°、90°</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>約 7.4kg</td><td>付属品</td><td>リモコン・リチウム電池（CR2025）</td></tr>
</table>

＊ 1：風量［7］、上下・左右首振り運転の場合です。
＊ 2：風量［7］の場合です。

●主電源「切」状態の本体の消費電力は約 1.4W です。

エラー検知について

以下のようなときは運転できません。（運転中にエラー検知した場合は運転を停止します）
主電源を「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いて点検をしてください。

<table>
<tr><th>表示内容</th><th>調べるところ</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">「C 1」点灯</td><td>羽根の回転が異常に遅くなかったですか。
→主電源を「切」にし、もう一度「入」にしてから運転してください。</td><td>11</td></tr>
<tr><td>運転中、ガード内に何かが入り、羽根の回転を無理やり止めませんでしたか。
→羽根の回転を止めているものを取り除き、運転してください。</td><td>6</td></tr>
<tr><td>「C 2」「C 3」点灯</td><td>支柱とベースの接続コードがはずれていませんか。
→接続コードをしっかりと接続してください。</td><td>8</td></tr>
<tr><td rowspan="2">バッテリー運転表示の点滅</td><td>バッテリーの接続コードがはずれていませんか。
→接続コードをしっかりと接続してください。</td><td rowspan="2">20、21</td></tr>
<tr><td>バッテリーが故障しています。
→バッテリーを交換してください。</td></tr>
</table>

上の表に従ってお調べいただいても原因が分からないときや、その他の異常や故障があるときは、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターに修理をご依頼ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で、義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

⚠
製造年　2012 年
設計上の標準使用期間 10 年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件

日本電機工業会自主基準 HD-116-3 による

環境条件	電圧	100V
	周波数	50/60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置条件	標準設置　＊ 1
負荷条件		定格負荷（風速）　＊ 2

想定時間等	1 日あたりの使用時間	8（時間 / 日）
	1 日使用回数	5（回 / 日）
	1 年間の使用日数	110（日 / 年）
	スイッチ操作回数	550（回 / 年）
	首振り運転の割合	100%

＊ 1：製品の取扱説明書による（水平で安定した場所）　＊ 2：製品の取扱説明書による

- 温度 30℃、湿度 65%は、JIS C 9601 の試験状態を参考としています。
- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、10 年より短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

故障かな？と思ったとき

●ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
支柱がベースからはずれない	●ベース底面のレバーを解除側にスライドしてください。	8
運転ボタンを押しても運転しない	●主電源ボタンを押して「入」にしてください。	11
羽根は回るが異常な音がする	●羽根はスピンナーでしっかりと取り付けられていますか。 ●ガードはしっかりと取り付けられていますか。 ●羽根とガードが当たっていませんか。	9
風量が変化するときの回転音が気になる	●風量が一時的に強まるとき、モーターから「ウィーン」、「ウォーン」と音がすることがありますが、インバーターモーター特有の音で異常ではありません。	－
首振りするときの動作音が気になる	●首振り運転時に「カタカタ」、「コトコト」と音が一時的に強まることがありますが、首振りモーター特有の音で異常ではありません。 ●首振り運転の最初や手で風向きを調節したとき、「カチ、カチ」と音がすることがあります。首振り用モーターが位置を確認するために一時的に空回りしているためです。	－
首振りが一時的に止まる	●首振りの角度が両端のとき、首振り用モーターが位置を確認するために一時的に空回りしているためです。	13
ボタン操作を受け付けない	●チャイルドロックを設定していませんか。	16
リモコンで操作できない	●受光部に向けて操作していますか。 ●リモコンの電池が消耗していませんか。	18
	●リモコンの電池の入れかた（ ⊕ ⊖ の方向）が間違っていませんか。	6
入タイマーが設定できない	●主電源が「入」になっていますか。	11
	●入タイマーは主電源が「入」で運転停止中か、切タイマー設定中のみ設定できます。	16
運転が自動的に止まる	●切タイマーを設定していませんか。	15
	●入タイマーで運転を開始しませんでしたか。 入タイマー運転開始後、４時間経過すると自動的に運転を停止します。	16
	●バッテリー運転の場合は、バッテリーの残量がなくなっていませんか。	11
室温表示と湿度サインがお部屋の温度計・湿度計と違う	●同じ室内でも場所によって温度・湿度が異なるため、お部屋の温度計・湿度計と差が出ることがあります。 室温表示と湿度サインは目安としてお使いください。	10
停電後、正常な運転ができない	●電源プラグを抜いて差し直してください。	－
コードが巻き取りにくい	●コードを赤マークまで引き出し、ねじれを直してから再度巻き込んでください。	19
充電時間が長い	●バッテリーの状態や使用条件、周囲の温度などによって、充電時間が長くなることがあります。	11

※ 25 ページの「エラー検知について」もご覧ください。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-76**
受付時間：365日　9:00〜20:00
携帯電話・PHSなど　**022-774-5402（通話料：有料）**
FAX　**022-224-6801（通信料：有料）**

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から１年間です。** だたし、バッテリーは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
- 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき、無料修理となります。無償商品交換ではありません。

補修用性能部品の保有期間

- 扇風機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後８年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

- 26ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、主電源を「切」にした後、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　　）

愛情点検

長年ご使用の扇風機の点検を！

定期的に「安全上のご注意」「お願い」を確認してご使用ください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ホコリなどの影響により部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

こんな症状はありませんか。
電源プラグやコンセントにたまっているホコリは取り除いてください。

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても、異常に回転が遅かったり不規則になったりする。
- 回転するときに異常な音がする。
- モーター部が異常に熱かったり、こげくさかったりする。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、主電源を「切」にした後、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

持込修理

東芝扇風機保証書

<table>
<tr><td colspan="3">形名</td><td colspan="2">F-DLP300</td></tr>
<tr><td rowspan="3">★お客様</td><td colspan="2">お名前</td><td colspan="2">ふりがな
様</td></tr>
<tr><td colspan="2">ご住所</td><td colspan="2">〒□□□-□□□□</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話</td><td colspan="2">市外　市内　番号　呼</td></tr>
<tr><td>保証期間</td><td colspan="2">本体</td><td>1年</td><td>★お買い上げ日
年　月　日から</td></tr>
<tr><td>★ご販売店</td><td colspan="4">住所・店名
電話</td></tr>
</table>

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝ホームテクノ株式会社　家電事業統括部
〒959-1393　新潟県加茂市大字後須田2570-1
電話（0256）53-2847

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）車両・船舶などに、備品として使用した場合に生ずる故障および損傷。
   （ト）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
   （チ）消耗部品の交換。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝生活家電ご相談センターへご相談ください。

修理メモ　修理年月日	修理内容	担当
年　月　日		
年　月　日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規定を遵守させますので、ご了承ください。

東芝ホームテクノ株式会社
家電事業統括部
〒959-1393　新潟県加茂市大字後須田2570-1

THT-TOCS（TG）